

Challenge!

加古川商工会議所の経営指導を受け、さらなる飛躍に向け「一歩」を踏み出した会員さんを紹介します。

株オリエント

代表取締役社長 東田 春彦 ひがしだ はるひこ

所在地：加古川市野口町良野504番地の2
TEL：079-425-2027
営業内容：クレーン車、油圧ショベル、ガスタービン発電機等の設計
干し芋の製造、販売



@NAKAMUSUME_HOSHIMO



稲美町で大切に育てられたさつまいもを加古川で丁寧においしい干し芋にしました♡



設計会社が食品製造販売に挑戦!

「大切な人に食べてほしいと思える商品や大切な人に入社してほしいと思える会社を作ること」を心掛けて、そのために何ができるかを常に考えています」と語るのは株オリエントの代表取締役社長 東田春彦さん。3年前に先代から会社を継ぎ、今年から新事業の干し芋づくりに挑戦しています。

きっかけは、干し芋を初めて食べた際の甘さに感動し、また無添加で子どもにも安心して食べさせることができることや日持ちもよく常温でも保存できるという点にも魅力を感じたこと。ゆくゆくは加古川を代表する名産品にしたい、加古川をもっと盛り上げたいという思いがあります。

製法にもこだわっており、原材料のさつまいもは、先代が稲美町に所有する畑で丹精込めて育てています。化学肥料を一切使用せず、干し芋製造の工程でそぎ落とされる皮を米ぬかと乳酸菌と混ぜて製造した肥料と牛糞堆肥を併用し、有機農法で栽培しています。

無添加で作られる干し芋はさつまいも自体のおいしさが重要と変わってくるため、徹底した温度管理で保管しています。腐らせずかつ甘さを十分に引き出すため、数トンにわたるさつまいもを大きさや熟し具合によって期間を変え、最良の状態で加工できるよう保管しています。

販売は4台の自動販売機で行われています。加古川市内に2箇所と工場裏に設置、また社内の福利厚生制度としてオークラ工業(株)に設置しており、詳しくはInstagramに掲載されています。

補助金や青年部加入で会議所を活用

令和3年度に採択された兵庫県の手業継続支援事業補助金を利用して、農具倉庫を事務所スペースへと改修しました。その際、商工会議所で計画書の作成や事業承継の相談を行いました。また、令和5年に採択された事業再構築補助金を利用し、空き家を干し芋工場に改修、また干し芋の生産設備の導入を行いました。

青年部には広報誌のチラシをきっかけに加入し、経営者とのつながりを得ることができました。経営の勉

強ができ、また商売の人脈を広げることができたそうです。お互いが困ったときに助け合えるような関係性を築くことができ、改修工事も青年部の会員が担当しました。

「将来的には海外に販路を広げたいです。保存性が高いため保存食にもなり、老若男女問わず食べていただけます。日本を代表する加古川の名産品にしたいです」と今後の目標を語ります。



工場裏の自動販売機



こだわりの干し芋